

# 事例4 プレキャストU型水路工の設置に門型油圧リフターを採用し安全性の確保と施工効率を向上

工事件名：新木津用水路小牧久保工区（その4）改修工事  
発注者：東海農政局新濃尾農地防災事業所  
施工：青木あすなろ建設㈱

## 工事内容と採用の効果

- 既設三面張り水路（延長約300m）を取壊し、プレキャストU形水路工を新設する工事。周辺には民家が立ち並び、水路両側の生活道路の通行止めを回避するため、水路内からクレーンでの施工を計画。
- クレーンの旋回に伴う兩岸道路の通行や架空線との接触事故防止など、狭隘な現場での安全の確保に最大限の注意が必要であった。
- 門型油圧リフターを採用することにより、クレーン吊り上げ後の旋回動作が不要となり安全性が確保された。
- クレーンなどの工事車両の入替えによるタイムロスがなくなり施工効率も大きく向上※した。

※本現場では、クレーン施工に比べると、クレーン据付撤去時間だけをとっていても、1本(1.5m)あたり約30分弱の短縮効果があったものと試算



門型油圧リフターでの施工  
安全性・施工効率の向上



門型油圧リフター特許取得  
(令和2年6月)

クレーンでの施工  
安全性、施工効率に課題

